

国指定史跡

水子貝塚公園



富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚

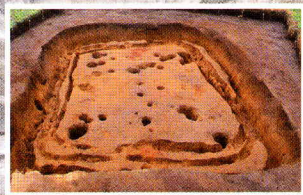
富士見市は、武蔵野台地の北東縁に位置し、東半部を占める荒川低地は縄文時代には海でした。水子貝塚は、魚や貝などの海の幸を求めて集まった人々が残した貝塚のひとつです。

昭和12年（1937）の発見以来数回の発掘調査が実施され、竪穴住居跡内に残された小貝塚が環状に分布する縄文時代前期中頃（約6,000～5,500年前）の集落跡であることが明らかになりました。これらの成果から昭和44年（1969）に国史跡に指定されました（指定地面積39,346.85㎡）。

■ 竪穴住居跡

住居跡からは、シジミを中心にカキやハマグリなどが混じる貝塚が発見されました。15号住居の貝塚の下からは30代の女性人骨が手足を折り曲げた姿で発見され、脇の柱穴にも若い雄犬の骨が埋葬されていました。

■ 15号住居跡



完掘状況



貝塚の確認状況



人骨の出土状態



土器の出土状態

水子貝塚 発掘の歴史



昭和13年（1938）▶

東京考古学会
による調査
住居跡2軒発見



◀昭和14年（1939）

東京大学人類学教室
による調査
環状集落跡であることが判明

昭和42年（1967）▶

富士見町教育委員会
による調査
住居跡3軒発見



◀平成3～5年（1991～1993）

富士見市教育委員会
による調査
住居跡3軒、人骨、
犬骨等発見



15号住居跡出土土器



貝塚表示

園内に散らばる白いエリアはその下に貝塚があることを表しています。



説明広場

約6,000~5,500年前の関東平野・奥東京湾の地図、水子貝塚の解説板を設置しています。



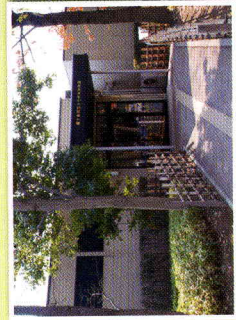
復元した竪穴住居の内部(15号住居跡)

住居内には縄文時代の人々の暮らしの様子が再現しています。



学習広場

様々な学習や体験ができ、憩いの場としても利用できます。



水子貝塚資料館



展望台



復元竪穴住居



水子貝塚展示館



縄文の森

園内には縄文時代の森を復元しています。
秋には様々な植物がその実を実らせませす。



コナラ



アラカシ



シラカシ



ガマズミ



クリ



クヌギ



アカシデ



ケヤキ



利用案内

■水子貝塚公園

開園時間 9:00~18:00 (4月1日~9月30日)
9:00~17:00 (10月1日~3月31日)

休園日 なし

入園料 無料

■資料館・展示館

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝日をのぞく)・祝日の翌日・年末年始

入館料 無料

事業案内

野外映画会、土器づくり、まが玉づくり、火起こしなど各種体験学習もおこなっています。



交通案内



■東武東上線みずほ台駅東口から約1.5km

■バス 東武バス：東武東上線志木駅から下南畑・富士見高校行貝塚公園入口下車

■自動車 関越自動車道所沢ICから約15分

富士見市立水子貝塚資料館

〒354-0011 富士見市大字水子2003-1

TEL 049-251-9686 FAX 049-255-5596